

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	地域リハビリテーション活動支援事業			会計	款	項目	大専	小専
政策	O4	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	高齢者支援課			
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり		主管課長	石井 由美子			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	介護予防活動に資する活動をしている団体や地域包括支援センター	意図	リハビリテーション専門職の助言や指導を受ける事で、より効果的なケアマネジメントや介護予防活動の展開ができる。
事業内容	地域における介護予防の取り組みを機能強化するために、住民運営の通いの場や地域ケア会議等にリハビリテーション専門職の関与を促進する。			
事業開始から現在までの状況変化	H27年4月の介護保険法の改正により地域支援事業に位置づけられた。一般介護予防事業における介護予防教室や、地域ケア会議でのリハビリテーションの専門的な関わりを目指している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	リハ職の地域ケア会議への関与	7	5	5	回	↑↑↑
②	リハ職の介護予防教室への関与		36	66	回	↑↑↑	参加延べ人数
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
事務事業のコスト	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	1,546,000	1,763,000	2,042,400
事業費(b)(円)	40,000	390,000	700,000
うち一般財源			
職員給与と費(c)(円)	1,506,000	1,373,000	1,342,400
人役・職員(人)	0.20	0.20	0.20
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

市の介護予防の地域展開についてや「ながいき100歳体操」の研修を行い、共通理解を図った。
H28介護予防普及啓発事業と関連させ、リハビリ専門職を講師とし市民向けの介護予防教室を1回開催。
ながいき100歳体操の体力測定や地域ケア会議への協力を得た。

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
				コストの削減	A 削減の余地はない	
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	市内の地域リハビリ連絡会と会議を開催し、今年度の振り返りをもとに専門性を活かしたリハビリテーション活動支援事業の展開を図る。	③取組の課題	リハビリテーション専門職の専門性を活かしておらず、リハビリテーション専門職と今後の取組について検討していく必要がある。
②今年度(H29)に実施した取組	地域リハビリ連絡会から介護予防教室や地域ケア会議、介護予防重度化防止推進員の研修の講師として協力を得た。	④今後(H30以降)の改善計画	介護予防教室講師派遣事業と関連付け、リハビリテーション専門職が地域で活動する場を増やしていく。